

学級活動

○ 生徒会活動

学校行事

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立庄原中学校	対象となる主な学年	第1、2、3学年
取組事例名	「挨拶コンテスト」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
<p>本校では挨拶のレベルを1～3に設定し、レベル3の挨拶を目指している。(レベル1：声をかけられてから、小さく挨拶を返す。レベル2：自分から大きな声で、相手を見て挨拶をする。レベル3：立ち止まり、自分から大きな声で、相手を見てはっきりと挨拶をし、礼をする。)</p> <p>9月に実施した生徒アンケートでは、「レベル2以上の挨拶ができていますか」という質問に対し、肯定的評価が次のような数値になった。</p> <p>・1年生「81.7%」・2年生「73.7%」・3年生「65.8%」・全学年「74.5%」</p>	<p>自律心と感謝の心を持ち、協働して社会に貢献する生徒。</p>



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
<p>クラス対抗の挨拶コンテストを通して、本校の5つの校風の1つである「みんなが挨拶をする学校」を意識付け、明るく活気のある学校づくりと、互いを尊重する態度を育てる。</p>
取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等
<p><取組の流れ></p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒全員が朝会隊形で着席する。 ②生徒会執行部が、挨拶コンテストの目的と進め方を説明する。 ③生徒会執行部の司会に従い、1年3組から順にその場に立ち、「おはようございます」と挨拶を行う。挨拶が終わったら、全員で拍手をする。(担任・副担任の先生も挨拶に参加(クラスごとの団結力を高めるため))【共感的な人間関係の育成】 生徒会執行部は評価シートを記入する。(執行部以外には内容を見せない。話さない。) ④全クラスの挨拶終了後、生徒会執行部から、挨拶の大切さについて改めて話をする。 ⑤朝会終了後、各自教室へ戻る。 ⑥生徒会執行部、または生徒会担当が評価シートの結果を集計、給食の時間に放送にて、結果を発表する。(学年ごとの優勝クラスを決定する) <p><創意工夫></p> <p>生徒朝会の中で、学年別、クラス対抗の挨拶コンテストを行う。各クラスが「おはようございます」と元気よく挨拶し、生徒会執行部で以下の①～③の項目をもとに評価し、優勝とする。この活動を通して、進んで挨拶する姿勢を身に付け、明るい学校づくりを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①声の大きさは適切か ②爽やかで、相手に気持ちよく伝わる挨拶ができていますか ③礼が丁寧で美しいか <p>※当日に気持ちの良い挨拶ができるよう、また、日頃から気持ちのよい挨拶ができるよう、評議委員会を中心に各クラスで挨拶練習に取り組む。(事前に評議委員会でこの取組について周知する)</p> <p><生徒の変容></p> <p>コンテストに向けた取組を通して、授業前後の挨拶を大きな声で行うことや、礼をそろえて行うこと等を意識した挨拶が見られるようになった。</p>



◆ 成果(○)と課題及び今後に向けて(●)

<p>○取組後のアンケート結果では、肯定的評価が1年生「82.9%」、2年生「76.7%」、3年生「65.8%」、全学年「76.1%」と、前回結果よりも、1・2年生は数値が上がっており、生徒の挨拶に対する意識を高めるきっかけになった。</p> <p>●活動の継続と定着という観点から、コンテストや特定の期間の挨拶は活発だが、その後も継続的に良い挨拶を定着させることが必要。また、運動の形骸化を防ぎ、いかに自発的なアクションにつなげるかを考えていく必要がある。</p>
